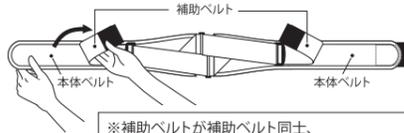


# 装着方法

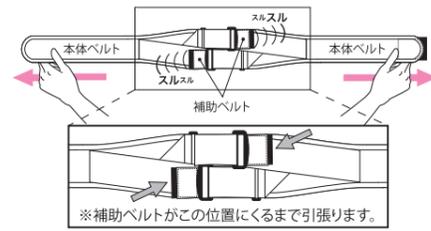
## 1 装着の準備をします

本品を広げ、左右の補助ベルトをはずします。



※補助ベルトが補助ベルト同士、または本体ベルトについた状態では正しく装着できず、装着時の固定力が弱くなります。

補助ベルトがはずれていることを確認し、本体ベルトを引張ります。



※補助ベルトがこの位置にくるまで引張ります。

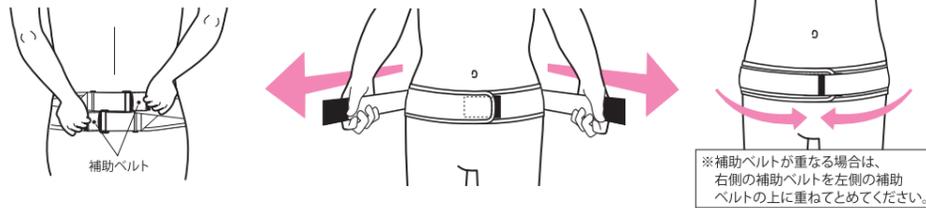
## 2 腰に本体を巻きつけます

本体を適度に引張りながら、腰骨(前方にでっばっている骨)の位置に合わせて、前面で本体面ファスナーをとめます。



## 3 補助ベルトを引張ります

背面の補助ベルトを持って、前面に引張ってとめます。



装着完了

※補助ベルトが重なる場合は、右側の補助ベルトを左側の補助ベルトの上に重ねてとめてください。

品番	サイズ	仙骨周囲
000-1421	XL	95 ~ 115cm
000-1422	M-L	75 ~ 95cm
000-1423	S	60 ~ 75cm

標準価格 ¥6,050 (税込)

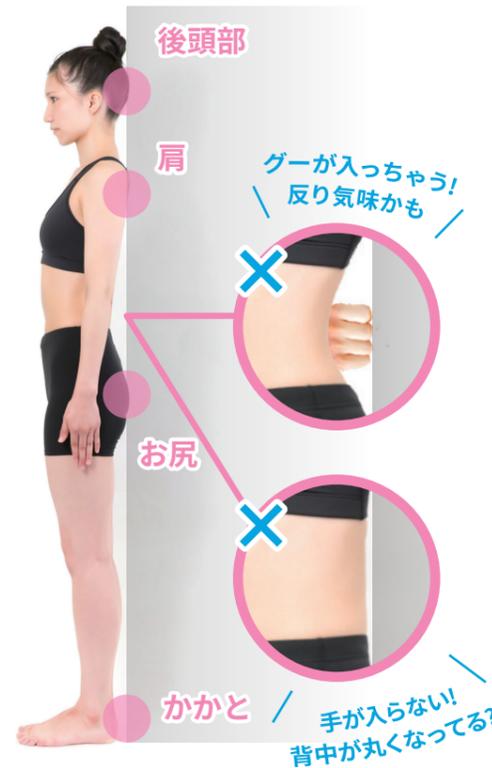
詳しい装着方法は  
こちら



あなたの立った姿は大丈夫？

# 自分の姿勢を理解しよう！

良い姿勢を保つことは、健康的な生活を送る上で非常に重要ですが、自分の姿勢や状態は、自分では分かりにくいものです。そこでここではカベを使って、健康的な生活を送りやすくなるための良い姿勢の確認方法をお伝えします。



## カベを使ってチェック！

### 4点をカベにつけよう

“後頭部”、“肩”、“お尻”、“かかと”の4点をカベにつけて立ってみましょう。この姿勢がむずかしい場合、悪い姿勢になっているかもしれません。

手のひらが入るくらいがOK

骨盤の位置は、良い姿勢・健康にとって非常に重要です。

骨盤が正しい位置にあることで身体全体のバランスが保たれ、運動機能や臓器の機能が正常に働きやすくなります。正しい骨盤の位置は脊柱とともに背骨を支える重要な構造物であり、下半身の筋肉や靭帯にも影響を与えます。



チカラあふれる。動くよろこび。

日本国内約3万件以上の、運動器を知り尽くした接骨院・鍼灸院の先生方とのパートナーシップにより生まれた、運動器サポートブランドです。  
bonbone (ボンボン) ブランドを通して、ココロとカラダに元気をお届けします。

お問い合わせはこちら



# 骨盤を締めて、**シヤキツ**と姿勢

骨盤の位置は、年齢や生活習慣、運動不足などによって変化することがあります。  
骨盤用サポーターは、正しい骨盤の位置を意識することや姿勢の維持にピッタリなアイテムです。  
また、骨盤用サポーターはコルセットに比べて、骨盤部のみを制限する細幅なので、筋力低下にもつながりにくいです。

## 装着時に自然と体が起きる シヤキツと姿勢



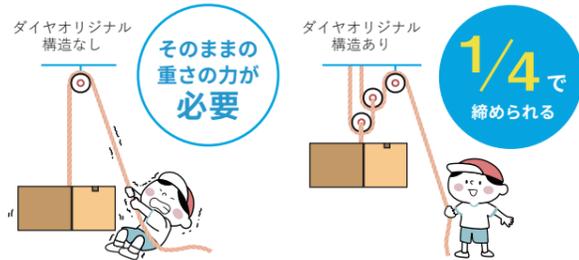
## 特殊構造の Wのギア



良い姿勢をキープしたまま装着できる

### オリジナルの逆締め構造

滑車の原理を応用して楽に締める



### 動いてもズレにくい 全面すべり止め

肌面を全面滑り止め素材にしてズレにくさを追及しました。立つ・座るといった動作やスポーツ時、動いてもズレにくい。



※黄色の斜線部分が滑り止め素材です。分かりやすい様に色を付けています。

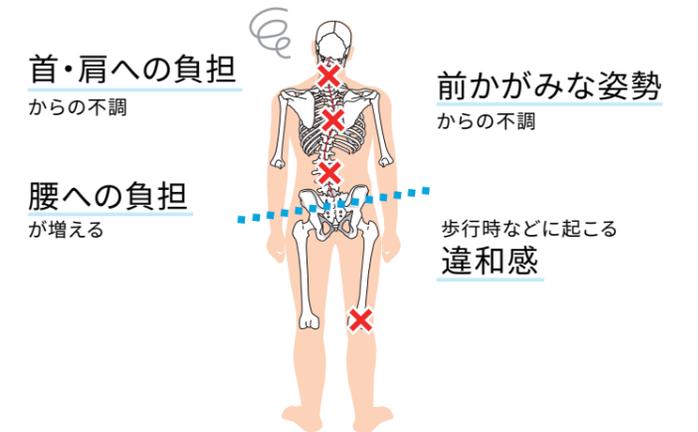
### 重さは玉ねぎ約半分! 軽くて快適!

着けていることを忘れそうな軽やかさです。また、全体的に薄く外観に響きにくい。周りの目を気にせず腰をサポートします。



## おしえて! Q なぜ骨盤を締めるの?

### 骨盤の安定こそ、 悩み解決の「鍵」!



骨盤が安定すれば、その上の脊柱や筋肉のバランスがとれることで負担を軽減できる可能性があります。

ダイヤ工業株式会社 理学療法士 門脇



患者さまの満足に繋がっています!

ほねごり整骨院グループ 前島大輔先生

### 巻く前後で 骨盤の角度を チェックします



腰のトラブルを抱えられている患者さまに対して、まずは機能を実感してもらうことを優先に考え、患者さまに巻いていただいています。機能が実感できた場合には、状態の説明に合わせて必要性を伝えることで提案しています。さらに巻く前と巻いた後で骨盤の角度を姿勢チェックシート等を活用し測定すると実際の角度も変わるため、より機能を実感してもらえることもあり、患者さまにもご満足いただいています。